

**HUMANE
INTERNATIONAL
NETWORK
(HINT)**

—————HINT News Letter No. 49 目次—————

- Page1: HINT 講演会・活動報告会のお知らせ
Page2: 入院費用ご支援のお願い
Page3: コンゴ奨学金について
Page4~5: コンゴ民主共和国の大統領選挙
Page6: 映画の窓
Page7: 会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿
HINT 事務局からのお願い
Page8: HINT 事務局からのお知らせ

<HINT 講演会・活動報告会にどなたでもお越しください>

雑草を食べる

アフリカの植物利用から国際協力を再考する

講師 **八塚春名**

津田塾大学 学芸学部 多文化・国際協力学科 講師 (8頁に詳細)



日時：6月30日(日) 15時~17時 (終了後に懇親会)

場所：新宿区四谷地域センター 集会室2

東京都新宿区内藤町 87 番地 四谷区民センター11F TEL. 03-3351-3314

地下鉄 丸の内線「新宿御苑前」駅より徒歩5分(地図:8頁参照)

都バス 品97 新宿駅西口~品川車庫 「新宿一丁目」バス停より徒歩1分

HINT(特活) ヒューメイン・インターナショナル・ネットワークは、1994年に発生したアフリカのルワンダ虐殺時の難民支援のために創設された東京都認証NPO(非営利活動)法人です。国を超えた隣人愛を示されたイエス・キリストの教えにしたがって、開発途上国における教育や保健医療、農村開発などを通じて、国境を超えた支援活動を続けています。息の長い継続が必要な奨学金運営20年以上の実績があり、キリスト教会やNGO団体との連携を活かしつつ、貧困状態が続く地域で多くの人材と希望を育てています。

入院費用ご支援のお願い

HINT 代表 進藤重光

●日常製品から見えるコンゴと日本

コンゴ民主共和国（以下、コンゴ）の子供たちのために、いつも皆様の温かいご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

私がカリタスのコーディネータとして現地に派遣されてから20年以上が経過していますから、いまに至るまで、どれほど多くの方々にお支えいただいていたのかを考えますと、どのように御礼の言葉を申し上げれば良いのか、言葉が見つからないほどの歳月が経ってしまいました。

既にご承知のように、コンゴの東部地域の鉱山から採掘された希少金属タンタルを含む鉱石コルタンが、パソコンや携帯電話などのコンデンサー（蓄電器）に使われており、先進国を中心に使われていることは、最近はよく知られるようになってきています。世界の中でもコンゴは、電気自動車やスマートフォンなどの電池に使用するレアメタル（希少金属）、コバルトの生産で世界の6割を占めており、グローバルな生産活動の連鎖の最も頂点に位置しているのです。

●教育支援の重要性

しかし、コンゴでの採掘のために、いまなお採掘現場に数多くの子供たちが駆り出され、非常に安い労働力である児童労働が国際社会の中でも問題視されていることは、本邦ではどの程度知られているのでしょうか。そして、この地域の利権をめぐる、数多くの子供たちが少年兵にするために捕らえられ、洗脳されて兵士として育ち、基本的な教育さえも受ける機会を失っているということは、報道されているのでしょうか。

私たちが普段、当たり前のように使っている、パソコンやスマホ、EV車などの部品が、彼らの犠牲の上に成り立っている。そんな現実が、いまなお世界を覆っているわけです。私たちはその現実を目をつぶり、安くて便利な機器であるかどうかだけを基準にしながら生活を続けているとは言えないでしょうか。

HINTの支援先は、これらの鉱物の生産地であるコンゴ東部地域のほど近くにありますが、直接支援を行うことは非常に困難であるため、私たちの奨学金は間接的だと言われてしまう

かもしれません。そして、『ハチドリのひとつ』のクリキンディが、一人で山火事を消そうとしているように見えることなのかもしれません。

しかし、ハチドリのひとつはとても小さいけれど、動物たちが力を合わせたら、たくさん水を運ぶことができたはず。こうして皆さまとともに1994年から24年間、私たちは数百人の子供たちの教育を支え続けて参りました。地球の反対側にある日本の小さな私たちの力で、地道にこの地域の教育の底上げをすることは、コンゴの人々と私たちの日常生活を繋ぐものとして、小さくとも大きな意味のある結び付きであったはず。です。

●現地コーディネータの入院

この長い歳月を、私たちのパートナーとして支え続けてくれた現地コーディネータ、タデー氏がいます。出会ったのは、1994年のルワンダ虐殺によって、200万人に及ぶ難民が発生したキャンプの中でした。コンゴ出身の彼は日本のNGOのスタッフとして働いており、学校の教師だった彼と、教育委員会で働く彼の奥さんとは、すぐに意気投合したことを覚えています。こうして、「民族を超えた奨学基金を運営できないだろうか」という彼の発案に応じるようになったのは自然の流れでした。

そしてタデー氏も私たちと同じように20歳以上の年齢を重ね、先頃、緊急に入院する事態となりました。高血圧による肺の閉塞、急性胃炎、腸チフス、デュピュイトラン拘縮などの病気を患ったため、この入院は不可避の状況でした。私たちHINTの奨学金で医師となった息子のアレン氏の診断もあり、ブカブの小規模の診療所では治療薬もないことから、隣国ブルンジの病院に入院の止むなきとなりました。

その入院費用は約2500ドル、日本円にして約28万円です。日本で入院することを考えれば格安とも言えますが、現地の物価から考えますと飛び上がるような費用となります。

●入院費用ご支援のお願い

いままでにも多くのお支えをいただきながら、このようなお願いを申し上げるのは、誠に心苦しい限りですが、できればいつもの金額よりも、今回は少し多めのご寄付をいただければ、誠に感謝でございます。殊に厳しい現地での歳月を過ごしてきた仲間への想いを込めて、皆さまに心よりお願いを申し上げます。

コンゴ奨学金について

●2018年度の現地事業計画

Humane International Network Japan
HINT AFRICAN PROJECT
BUKAVU, DRC PROGRAMME
P.O. BOX 316 CYANGUGU/RWANDA

Bukavu, August 20, 2018

N° 007/HAP/DRC/BKV-PROG/17-18

Subject: **New budget for school year 2018 - 2019**

Dear Mr. François Xavier SHINDO, President,
Dear Mr. Prof Akira TAKAHASHI, Programme manager,
Dear Keiko Nagano, Treasurer,

According to our last contact by phone and the decision from HINT General Meeting which fixed the new budget for the school year 2018 – 2019, we would like to send you the new calendar of transfer per quarter mentioned as follows:

PERIOD	DATE OF TRANSFER	DATE OF WITHDRAWL	AMOUNT TO SEND	OBSERVATIONS
First quarter: Monday, September 3, 2018 to Wednesday, January 2, 2019	Monday 2018/08/20	Saturday 2018/08/25	1,800 \$	School will start on Monday September 3, 2018 to end on Saturday, December 22, 2018 for Christmas holiday
Second quarter: Wednesday, January 9, 2019 to Monday, April 15, 2019	Thursday 2018/12/17	Monday 2018/12/22	1,300 \$	School will start on Tuesday, January 8, 2019 to end on Monday, April 15, 2019 for Easter holiday
Third quarter including August 2019: Tuesday, April 16, 2019 to Saturday, August 31, 2019	Monday 2019/04/08	Saturday 2019/04/13	1,400 \$	School will start on Tuesday, April 15, 2019 to end on Tuesday, July 2, 2019 for Great Holidays.
GENERAL TOTAL REQUESTED			4,500 \$	

Receive greetings from our students.

Thanks for your good co-operation.

Best regards,

Mr. MUSAGHI K. THADDEE
HAP COORDINATOR BUKAVU/DRC



コンゴ民主共和国の大統領選挙

2018年12月30日に行われたコンゴ民主共和国（以下、コンゴ）の大統領選挙の結果が確定し、フェリックス・チセケディ新大統領が選出されました。ジョゼフ・カビラ前大統領の強権的な政治が続いていた時代が終焉を迎え、初めて平和的な政権交代が行われたことになり、新たな時代の幕開けで、人々の期待が高まっています。この機会に、コンゴ民主共和国（以下DRC）の問題点を整理し、加えて、カトリック教会・淳心会に所属し、コンゴ出身でもあるカブンディ・オノレ神父に現在の状況についてお答えいただきました。

●お父さんの遺言を忘れないで

2019年3月14日付、国際人権団体アムネスティ・インターナショナルの国際ニュースはコンゴの新大統領を称賛し、次のように報じました。このニュースは、大きな驚きと喜びをもって世界中を駆け巡りました。18年間に及んだカビラ前大統領の独裁政権中には、アムネスティがコンゴの大統領を賞賛するということがあり得ないことだったからです。

『アムネスティ国際ニュース』

「2015年から2018年にかけて、政治的に発言したり抗議行動に参加したりというだけで不当に投獄された人たちなどおよそ700名が、大統領恩赦で釈放された。エティエンヌ・チセケディ大統領の決断は、同国の人権回復への重要な一歩であり、賞賛に値する。直ちに、恣意的に収監されていた人たちを釈放するべきだ。

チセケディ大統領はこの1月24日に就任し、在任100日以内に人権活動家らを釈放すると公約した。大統領は今回、公約を実行したわけだが、さらに踏み込み、誰も単に意見を述べたり、人権を行使したりするだけで逮捕・拘束・起訴されることがないことを国として保障すべきである。

悲惨な人権状況を改善する上でやるべきことは、山積みだ。人権を侵害した加害者の責任を問うこと、また犠牲者に正当な補償をすることなども、避けては通れない。

アムネスティの事務総長クミ・ナイドゥは先月、チセケディ大統領に書簡を送り、人権状況の改善に向け早急な取り組みを求め、在任100日以内になすべき、短期的状況打開への10の実行項目案を提言した」。

コンゴのキリスト教会は、全人口の70%を占めており、そのうちの半分以上を率いるのがカトリック教会です。新大統領に向かつて、重鎮ローラン・モンセングオ・パシヤ枢機卿は、非暴力民主化を進める野党の高名な闘士であり、今回、新大統領に選ばれたフェリックス・チセケディ氏の父親で元首相のエティエンヌ・チセケディを思い起こさせました。「民衆ファースト」を掲げ続けた、あなたのお父さんの遺言を忘れないでくださいと釘を刺しました。

●報道されない540万人もの犠牲者

1994年末から、隣国ルワンダのジェノサイドから発生した多くの難民や武装勢力が東ザイールに滞在するようになります。それがきっかけで、ルワンダ、ウガンダなど数カ国がザイールに侵攻し、1997年にモブツ政権が倒れることになり、ローラン・カビラ大統領が誕生しました。ザイールの国名もコンゴ民主共和国に改名されました。

しかしこの政権への不満を募らせたルワンダは反政府勢力を組織、国内の豊富な天然資源に対する利権も相まって、ウガンダ、ブルンジとともにコンゴ民主共和国に軍事侵攻します。これが第二次侵攻と呼ばれるもので、政府側にはアンゴラ、ジンバブエなどが応援に入り、合計8カ国による紛争となります。こうして、「アフリカの第一次世界大戦」とも呼ばれる紛争に拡大していきます。

●大統領による独裁

しかし、このローラン・カビラ大統領が暗殺され、息子のジョゼフ・カビラ氏が大統領に就任。2003年には和平合意が結ばれ、外国から兵士の撤退が実現します。しかしながら、形を変えた武力紛争が部分的に続き、鉱物の採掘権や民族間のアイデンティティの対立、隣国の関与など、さまざまな問題を抱えます。130以上ある武装勢力による襲撃や食料の略奪も頻発し、特に東部地域の住民たちは不安定な生活を余儀なくされていきます。

このように、長く続いたコンゴの紛争は、1998年から2007年の間に540万人以上もの犠牲者を出して、1950年代の朝鮮戦争以来世界最大の数ださえといわれています。そしてこの2年ほど、ジョゼフ・カビラ大統領は憲法の定めを無視して憲法に定められた大統領選

挙を行わず、国内外から非難を浴びることとなりました。

●三者による激しい選挙戦

カトリック教会はこの問題に仲介者として介入し、ようやく大統領選挙を実施できる運びとなりました。こうして与党から一人、野党から二人の有力候補フェリックス・チセケディ氏とマルタン・ファユル氏が出馬し、三つ巴の闘いとなりました。

オノレ神父は次のように述べます。

「チセケディ氏は有名な野党党首の息子として、長年政治の世界に身を置いてはいましたが、父親の陰に隠れていたような感じでした。強烈な信念と個性の持ち主というよりは、保守的な政治家たちとも妥協していく政治を行うかもしれません。

それに対してファユル氏はカビラ大統領と強く対立しており、最もラディカルな野党党首です。しかし、このファユル氏も他の野党党首と話し合っ、暫定的な政権を2年間続け、その間にカビラ色を薄め、その後にあらためて選挙を行うように約束をしたという話もあります。それはそれで憲法違反（大統領の任期は本来5年間）だと反発を受けているのです。その点、チセケディ氏は5年間ははっきり任期を全うするとしています」

「面白いのは、この二人は同じプロテスタント教会の同じ地区の教会の出身だということです。この日曜日にも、二人は会ったという報道もありました。今後の不安な点は、これから大統領が決めることになる首相の選出問題です。首相は最大与党から選ばれることになっており、そうなるとカビラ大統領のグループから再び首相が任命されることになってしまい、人々は、それでは元の木阿弥となりかねないと心配しているのです」

2018年12月30日投票の大統領選について同国の選挙管理委員会は10日、チセケディ氏が得票率で1位になったと発表した。これに対し、投票日に約4万人の選挙監視団を展開した同国のカトリック教会は実際の勝者は選管発表では2位のファユル氏だったと主張。フランスやベルギーも同様の認識を示し、選挙結果の不正操作の疑いが強まっていました。

同氏は24日、ロイター通信に対し、チセケディ氏には絶対協力しないと表明。「彼は選ばれた大統領ではなく、カビラ氏に任命された大統領だ」と述べています。

●コンゴの未来に向けて

しかし、同国の憲法裁判所がファユル氏の異議申し立てを棄却したことを受けて、アフリカと欧米の多くの諸国はコンゴが政情不安に再び陥ることを恐れ、チセケディ氏を大統領として認め、カトリック教会のモンセングオ枢機卿も今年の復活祭に大統領を迎えて、公に認める意向を示しました。

ファユル氏支持者の抗議行動の先鋭化や治安部隊による弾圧の激化によって、政情不安を招く懸念があるからです。コンゴは過去にも周辺国を巻き込む国際紛争の舞台となり、数百万人の犠牲者を出してきています。鉱山地帯では武装勢力と軍の戦闘が続いているほか、児童労働の実態も国際社会や企業が問題視しているのは前出の通りです。

チセケディ氏がこのまま新大統領の座についた場合、退任するカビラ大統領との二重権力に陥る懸念もあるとの報道もなされています。

選挙管理委員会の発表によると、退任するカビラ大統領の後継候補は3位にとどまっていますが、チセケディ大統領に対して、影響力や利権の保持を狙うカビラ氏が、5年後に向けて、権力を掌握するための政治的な取引を持ち掛けるとの見方もあります。逆にファユル氏陣営には「反カビラ」の大物政治家が名を連ねており、より急進的な改革を要求するかもしれず、恒常的な平和を維持できるか、事態は予断を許しません。

オノレ神父は次のように締め括りました。「いずれにせよ、これからの5年間は新大統領を支える必要があります。いまはもう、新大統領に対抗する野党の指導者であっても、だれも捕らえられて刑務所に入れられたりはしません。その意味では希望があります。お父さんの影響力が生きており、民衆ファーストの考え方が続いています。そのため、これからも平和な状態が続くためには、人々がさまざまな形で新大統領を支えることができるかにかかっているのです」

映画の窓

高倍宣義

アラブの春は、マリやブルキナファソにも伝搬しましたが、今年大規模な街頭デモにより、アルジェリアのブーテフリカ大統領とスーダンのバシル大統領が退陣しました。民主化がどこまで進むのか注目です。コンゴでは有力野党候補を排除した選挙によりチセケディ大統領が無事に誕生しました。

《これから公開される作品》

☆「風をつかまえた少年」The Boy who Harnessed the Wind

監督：キウエテル・イジョフォー

公開：8月2日(金)よりヒューマントラストシネマ有楽町他

久しぶりのアフリカを舞台にした実話ドラマです。マラウイを襲った大干ばつで、村は飢饉に陥ります。主人公の少年は退学や学校閉鎖に直面しますが、電気と工作に強くラジオの修理もします。図書室の本で学び、父親の自転車のダイナモを使い風力発電を組み立て、モーターで井戸水をくみ上げ灌漑に成功します。



© 2018 BOY WHO LTD / BRITISH BROADCASTING CORPORATION / THE BRITISH FILM INSTITUTE / PARTICIPANT MEDIA, LLC

☆「ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス」Ex Libris-The New York Public Library

監督：フレデリック・ワイズマン

公開：5月18日(土)より岩波ホール

市の財政と民間の寄付で運営するニューヨーク公共図書館が提供する幅広いサービスを紹介する好評の長編ドキュメンタリー。アフリ

カ系の人々が職員やゲストとして登場し、ハーレムの黒人文化研究図書館は、地域の人々をサポートしています。今の良いアメリカが伝わってきます。



© 2017 EX LIBRIS Films LLC – All Rights Reserved



© 2017 EX LIBRIS Films LLC – All Rights Reserved

《公開中の作品》

★ピーター・ファレリー監督作「グリーンブック」Green Book

NYで活躍する天才黒人ジャズピアニストが、イタリア系の用心棒兼運転手とアメリカ南部に演奏旅行に出かけます。旅先で次々に人種差別を味わう中で生涯の友情が育まれ、最後は家族と一緒にクリスマス。笑いを誘う実話ドラマ。

★バリー・ジェンキンス監督作「ビール・ストリートの恋人たち」If Beale Street Could Talk

ニューヨークのハーレムに生きるアフリカ系の一組の若い男女が刑務所の窓越しにかわす愛と信念を描いたJ. ボールドウィンの小説を原作にしたドラマ。

★オリヴィエ・アヤシュ＝ヴィダル監督作「12か月の未来図」Les Grands Esprits

アフリカ系の子女が多く通うパリ郊外の教育困難校へ派遣された有名高校のエリート教師と1人の生徒に焦点を当てた作品。校長の役割や退学を決める学校評議会が登場する。

会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿

(2018. 11. 1-2019. 4. 30・順不同・敬称略)

末永 恵子	村井厚子
東矢 高明	安達 裕美
石田 達也・倫子	国分 一也
武井 秀彦	高倍 宣義
佐藤 健一	佐賀 邦夫
進藤 重光	畠山 千秋
桃井 和馬	禹 満
野坂 俊弥	中本 裕之
石間 裕	神山 和美
長野 圭子	武井 弥生
高橋 章	市川 幸一
小幡 行弘・朋子	古城 かほる
谷口 義武	石原 達哉
加藤 順子	末永 秀雄・美津代
比嘉 勇也	高澤 佳代乃
西嶋 久恵	大野 容子
カトリック松原教会	森川 浩一郎
米村富士子	山田 篤
四條 淳也	匿名の皆様

ご支援・ご協力ありがとうございました。

★左記期間内に会費納入やご寄付をされている方で、名簿に載っていない方は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

★HINT は皆さまの会費で運営されています。年会費 5,000 円で、ベトナムでは約 500 人分の給食を提供できます。コンゴで中高生約 2 人分の 1 年間の学費です。

★封筒ラベルの一番下にある日付が、最後にお振り込みをいただいた直近のお振り込み日となります。

★郵便局の振込金受領書は、正式な領収書ですので、大切に保管してください。

★振替用紙は郵便局から事務局にコピーが届きますが、判読しづらい場合があります。楷書で分かりやすくご記入いただきますとたいへん助かります。

HINT 事務局からのお願い

会費振込のお願い

皆さまの会費やご寄付が命綱です。お振り込みは同封の振込用紙を使用していただくか、下記口座へお振込みくださいますようお願いいたします（賛助会員：1 口 5,000 円から・学生会員：1 口 2,000 円から。ご寄付の場合はご随意にお願いいたします）。

■郵便振替：00120-1-596327

口座名義：特定非営利活動法人 HINT

■ゆうちょ銀行：

記号 10010 番号 26990711

（他銀行から振り込む場合 店名：008

種目：普通 番号：26990711）

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

■三井住友銀行：新宿支店

普通預金：3390001

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

● 2019 年度の役員・ボランティアを募集します

2019 年度の HINT 役員とボランティアを募集しています。非営利活動を支えるのは、皆さまからの大切な会費収入と同時に、日々の小さな事務作業の積み重ねです。役員は総会で選任され、定期的な理事会に出席し、HINT の実務的な業務をしていただきます。

印刷作業や荷物運び、翻訳などのテンポラリーなボランティアの仕事もあります。登録ボランティアとして、メールアドレスをご登録いただき、ご都合のつく時に、実務的な作業に随時ご協力いただければ幸いです。皆さまの積極的なお申し出をお待ちしています。

ご連絡・お問い合わせ先：HINT 事務局

E-mail: hint_info@epopee.co.jp

HINT 事務局からのお知らせ

《総会のお知らせ》

日時：2019年6月30日(日)13:00~14:00
場所：新宿区四谷地域センター 集会室2
東京都新宿区内藤町87番地 四谷区民センター
11F TEL. 03-3351-3314

2019年度総会を開催いたします。

議題：2018年度活動報告、2018年度決算、
2019年度役員改選、2019年度活動計画、2019年
度予算計画等。

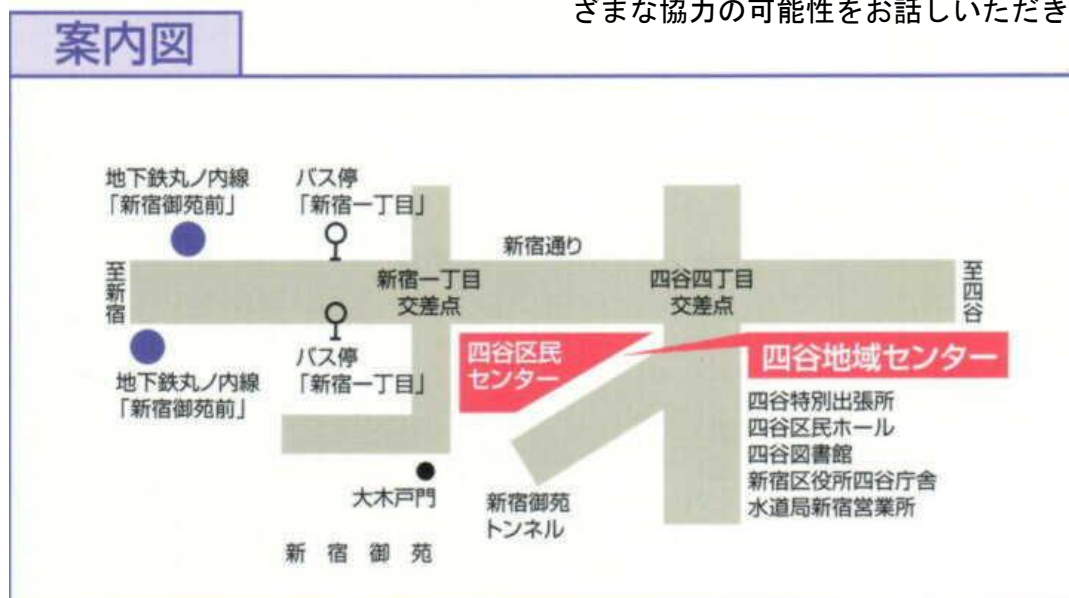
どなたでもご参加いただけます。HINTの活
動について、ご関心のある方はどなたでも是
非おいで下さい。事前のご連絡は不要です。

総会・講演会・活動報告会 アクセス

新宿区四谷地域センター 集会室2

東京都新宿区内藤町87番地 四谷区民セ
ンター11F TEL. 03-3351-3314

- ・地下鉄 丸の内線「新宿御苑前」駅より徒
歩5分(地図:8頁参照)
- ・都バス 品97 新宿駅西口~品川車庫
「新宿一丁目」バス停より徒歩1分



《講演会のお知らせ》

日時：2019年6月30日(日)15時~17時
場所：新宿区四谷地域センター 集会室2

テーマ：「雑草を食べる——アフリカの植物
利用から国際協力を再考する」

講師：八塚 春名(やつか はるな)氏

津田塾大学 学芸学部 多文化・国際協力学科
講師、NPO 法人アフリック・アフリカ副代表理
事

1980年 滋賀県大津市生まれ。

2003年 京都府立大学 農学部 生物生産化
学科 卒業。

2003年10月初のアフリカ訪問。

2011年 京都大学 地域研究博士号 取得。

2014年 日本大学 国際関係学部 助教

2019年4月より現職。

アフリカのタンザニア訪問は現在までに十
数回。タンザニアでのフィールドワークを続
けながら、日本に暮らす人々がアフリカをよ
り身近に感じられることを目指す団体「NPO 法
人アフリック・アフリカ」にて活動中。今回の
講演(1頁参照)では、現地の視点から、さま
ざまな協力の可能性をお話しいたします。

特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク (HINT) 事務局
〒164-0002 東京都中野区上高田 3-24-7 平兵衛内
電話&FAX:03-6279-1080
e-mail: hint_info@epopee.co.jp
ホームページ: http://www.epopee.co.jp/hint